

自然感

# くすのき

視点を変えてみたら、との思いで、生きものとのお付き合いの参考にどうぞ。

## ○ぶつぶつぶやき○ ⑳

かなり強い雨が降っていたら、私はやっぱり雨宿りしたくなります。人が造った建物に慣れているスズメは、私と同じように屋根のある場所で雨宿りをしていました。でも、いくら雨が降っていても、逆に水浴びをするように雨にあたっているハシブトガラスがいました。そう言えばキジバトが雨の中、電線にジッととまっていることもありました。あるいは、小さなキチョウは草の葉裏にぶら下がるようにして、雨をしのいでいました。でも、アマガエルは、雨が降り始めたら元気一杯？

『雨』と言っても、その降り方は様々。そして、受け止め方も様々。ただ、どんなに強く降っても、雨宿りしながらその雨だれの様子を楽しめる程度にしてほしい、なんて勝手なことを考えてしまう。<さんじゃく>



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会

(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁／

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(南)クラブ内 TEL & FAX : 092-400-1765

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

## ★都市公園で自然観察会 75★

春日公園で、梅雨明けの夏を、ゆっくりと観察します。

★日時 8月20日 (日) 集合14時～解散16時

★場所 春日公園・旧売店 前

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Email [kurabird-.tamura@nifty.com](mailto:kurabird-.tamura@nifty.com)

### 日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

集合時間、ご注意ください。

8/20(日) 9/17(日)  
天拝山探鳥会(筑紫野市)  
時間：8:00~11:00  
集合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：090-7165-5026(重松尚紀)

8/27(日) 9/24(日)  
久末ダム探鳥会(福岡町)  
時間：8:00~11:00  
集合：久末ダム多目的広場横  
駐車場(管理事務所下)  
問合せ：0940-33-7846(高原和幸)

9/3(日)  
今津探鳥会(福岡市西区)  
時間：8:00~11:00  
集合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005(神園道男)

9/9(土)  
大濠公園探鳥会(福岡市中央区)  
時間：9:00~12:00  
集合：ポート乗り場前  
092-573-1827(森健児)

9/10(日)  
和白海岸探鳥会(福岡市東区)  
時間：9:00~12:00  
集合：JR和白駅前公園  
問合せ：092-606-0012(山本廣子)

9/5(火)  
県営春日公園(春日市)  
時間：10:00~12:00  
集合：旧公園管理センター前  
問合せ：090-8220-6160(田村耕作)

### 日本野鳥の会 筑後支部

### 福岡植物友の会 主催

8月の探鳥会はお休みです。



8/20(日)  
すずめの地獄(熊本県南小国町)  
参加は有料 要予約  
問合せ：092-662-2983(佃昇)



### 三国丘陵の自然を楽しむ会 主催 <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

9/2(第1土曜日)  
自然観察会(植物・昆虫・野鳥など)  
集合：九州歴史資料館駐車場  
時間：9:30~12:30  
問合せ：092-920-3072(松永紀代子)  
参加費：200円(大人のみ)

ブログ「三国丘陵の自然を楽しむ会」で  
[検索](#)  
観察会や様々な生きもの情報を載せています



樹液の賑わい 三国・松永



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子 松永

### 和白干潟を守る会 主催

### 久留米の自然を守る会 主催

8/26(土)  
守る会定例会議  
時間：10:30~13:00  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012(山本廣子)

8/26(土)  
クリーン作戦と自然観察会  
時間：15:00~17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：090-1346-0460(田辺スミ子)

第V記  
「身近な植物」ボランティア講座  
実施日 8月31日、9月28日  
要事前申込  
時間：9:30~12:00  
集合：高良大社下宮社  
問合せ：090-1346-0460(橋田沙弓)  
hashed@kurumenoshizen.net

# 2017年7月 私のデジカメ日誌より 本のむし

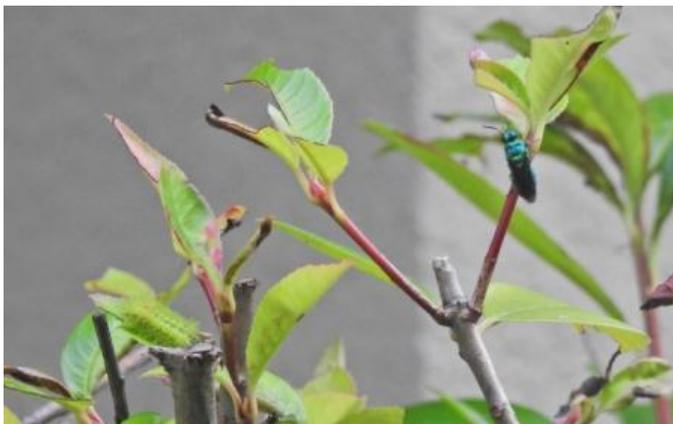
今回は、7月1日（旧暦閏5月8日）～7月31日（旧暦閏6月9日）までのデジカメ日誌です。



7月15日(旧暦閏5月22日)小郡市三沢九州歴史資料館  
高い梢で体を休めていたウチワヤンマ。昨年もこの頃見かけた。ヤンマとついているが、分類上はサナエトンボの仲間である。頭の複眼が離れていることで解る。



7月23日(旧暦6月1日) うきは市道の駅  
朝倉市の被災地の山です。正面が杷木ICの方向。山の上部に地肌がむき出しの崩壊地が見える。YAHOO地図で航空写真に切り替えると、谷あいにかげ無残な崩壊地が広がっているのが見える。一日も早い復興へ何をしよう？



7月23日(旧暦6月1日) 筑紫野市天拝坂  
庭でイラガが大発生した。対角線左下にヒロヘリアオイラガ幼虫、右上にイラガセイボウがいる。すぐに食べて欲しいがセイボウはイラガの繭に卵を産み付けるのだ。



7月20日(旧暦閏5月27日) 筑紫野市天拝坂  
コデマリの葉を食べていたスズメガの仲間の幼虫。ネットの「みんなで作る日本産蛾類図鑑」で一番近いのはコエビガラスズメだったが、どうであろうか。



7月23日(旧暦6月1日) うきは市道の駅  
ツバメの巣を探していたら、泥のお椀の上に枯れ草が盛り上がった巣を見つけた。しばらく待っていると、親鳥が餌を与えに戻ってきた。スズメである。巣を横取りしたようだ。



7月25日(旧暦6月3日) 筑紫野市天拝坂  
葉っぱに擬態しているつもりか、はたまた獲物を待ち伏せしているのか。ハラビロカマキリの幼体である。朝からずーとこの姿勢のままである。

くすのき 2017年8月号投稿原稿-本のむし  
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

## 会員からの投稿

### 窓越しの自然観察 21 ～ 自然の力 人の力 ～



7/5 日気象庁発表の降雨量；129.5 ㎜/h、28.5 ㎜/10min.、516.0 ㎜/日。  
設置場所の違いによるものか？県設置の雨量計では760 ㎜と報道されていました。  
1～2時間に300 ㎜を越す降りでは、棚田や谷あいの流れに住む生き物は、逃げる間も  
なかったと思われます。今後、生態系はどのように回復して行くのでしょうか。

定点撮影するいつもの位置は、流木と土砂の山々で野球場二面を持つグラウンドを埋め  
尽くす勢い。其の向こうに見える筍の山なみの顔色を、今夏は届けることができません。  
日々高さも増して、これらは、どのように始末されるのだろうか、東北の放射線汚染  
ゴミの行く末にまで念いが至ります。

ダムの水は、10日過ぎても赤茶色に濁り放水路も赤く染めていましたが、3週間後には  
やっと水面が少し緑がかって見えるようになりました。静かだった庭にこの数日、  
小鳥の姿、クマゼミの声。

(ダムサイト住人 2017/7/30 記)



#### 他団体の会報の紹介

・福岡植物友の会 会報 平成29年8月号 第58巻

北九州市小倉南区 山の神川（福智山山麓）での観察会報告、などを掲載

・日本野鳥の会筑後支部 会報まめわり 第195号 17. 8. 1

「鳥信で募集する野鳥たち」カササギの生態、広島県のブッポウソウ視察報告などを掲載

## 都市公園で自然観察会 74回 参加者3名

H29年7月16日(日)

テーマ：春日公園の湿地環境で生きものを探し(その2)

観察した内容は、公園の調整池とその周辺で、小さな生きものを楽しみました。

トンボの仲間は、小さな側溝沿いでシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、池でチョウトンボやギンヤンマ、多くのベニイトトンボは産卵中と思われる個体も、少し離れた林では休息中のコフキトンボを観察した。



観察風景



シオカラトンボ ♂



ベニイトトンボの産卵行動



休息中のコフキトンボ♂

チョウは、モンシロチョウ、ムラサキツバメ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、キタキチョウ、ヒメアカタテハを観察した。



林内で見かけたムラサキツバメ



シロツメクサに来ていたベニシジミ



確実に受粉したであろうシロツメクサ

側溝ではメダカを観察、その側溝が流れ込む池でオイカワの群れを見かけた。オイカワは流れのある河川中流域でよく見かけるので、意外でした。

アブラゼミもよく鳴いていて、暑さを倍加させてくれる存在ですが、虫取りの子ども達にとって貴重な存在のようです。



草地で見かけたアオメアブ

## 和白干潟の観察会（7/23の午後）に参加した。

いろいろなカニの仲間を観察した。コメツキガニ、アシハラガニ、ケフサイソガニ、オサガニ、ハクセンシオマネキなど、また、貴重な塩性湿地の植物、ハママツナ、イソホウキギ、シバナ、フクド（ハマヨモギ）、ハマナデシコ、それに、海岸を好むハマボウ（アオイ科）。

生きものの豊かな博多湾、その中の和白干潟で生きものの多様性、改めて体験した。



アシハラガニ



ケフサイソガニ



オサガニ、



ハマボウ



久しぶりのカラシラサギ



砂の干潟でアオスジアゲハ



## 参加費・寄付金の報告 2017年 7/16の参加費600円



### インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。

ナイス福岡のアドレスは最初のページの一番下に表示しています。



### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

**年会費：2000円 郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783**



### 定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00~20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのお越しを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、平成29年9月8日（金）午後6時より事務局で行います。2017年9月号の原稿は、2017年9/4（月）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。



**編集後記** 2017年7月の定例発送会は、山本弘子、藤川渡、永松愛子、田村耕作が参加しました。

台風5号が、九州の南海上でゆっくりゆっくりと移動中、福岡では少し風があり、暑さもほんの少し和らいだ日曜日の午前中に、田んぼの畔に沿って散策した。用水路にはヒシが水面を被い、白い花が咲き始めていた。

前回7月のはじめには、イトトンボの仲間やひらひらと飛ぶチョウトンボが乱舞しているとの表現がピッタリと当てはまる風景だった。

今回（8/6）は、チョウトンボは全く見つけることが出来ず、コフキトンボの群れが、用水路の水面から出ているヒメガマの葉や枯れた茎に、同じ方向を向いて止まっていた。他にはウスバキトンボが飛び始めていた。

小さな用水路ですが、確実に生きものの季節変化を感じました。田字草



コフキトンボの群れ